



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20 2022.10.30  
 目 宅 872-9324 高知市福井町1475-3 No.748

# 生活保護制度運用改善し 酷暑から命と健康を守る 意見書提案し可決される!

## 夏季加算要求の 代表質問が生きる

● 9月議会での代表質問で米田議員は、新たに生活保護を受ける世帯はエアコン購入への支給があるが、従前からの世帯にはないことを指摘。「平成30年3月31日以前から、生活保護を利用している世帯や低所得世帯を含めて対象にしている境港市や名古屋市、東京都荒川区など自治体でエアコン購入に独自に助成、支援するところが広がっています。」とのべ、高知県も、市町村と協力してエアコン設置への新たな支援制度を創設するように求めるとともに、エアコンの電気代などに対する夏季加算も要望していました。

● 知事は、近年、熱中症による健康被害が心配される状況にあり、エアコンの使用は命を守るためにも大変重要だと述べるも、従前どおりの「社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付制度」利用を促す答弁にとどまりました。

● 党県議団は、国に対して、エアコン購入費と夏季加算を求める「酷暑から命と健康を守る生活保護制度の運用改善を求める意見書」を提案、全会一致で採択可決されました。

塚地氏 全国に先駆けて県が創設した「子ども食堂支援基金」の現状は、子どものいる世帯へ食材を届ける活動にも補助金を拡大できないか。  
 山地和子とも・福祉政策部長 基金を設置した2017年3月から21年度までに受けた寄付額約3600万円のうち、約1千万円を子ども食堂の補助金に活用している。22年5月末時点の基金残高は原

9月県議会質問より  
 塚地 佐賀県議質問  
 子ども食堂基金  
 食材配布支援必要

資など約1400万円を合わせ3971万円。新型コロナ禍を契機に市町村社協やNPOによる食材の配布や宅配が広がっているが、基金は食料の提供を通じた居場所づくりを支援するもので、食材配布は対象でない。ただ、こうした活動はNPOや民間団体などに広がり、現在は県社協がフードバンク活動団体などと連携して支援している。県の支援のあり方を今後検討したい。

コロナで食事や共居場所を提供できず困っている子ども食堂。ここに基金を全く使わない? たま。とくみにはな子苦者か。

## オスプレイ違法の高度 90m。日米両政府に撤回を求める — 吉良富彦県議質問 —

日米両政府は、MV22 オスプレイの飛行訓練の高度を150mから90mにまで下げ、訓練を中止としています。今回は10月18日までとしています。常態化する可能性があり、日米同盟さえかかげれば、憲法も許されるといった姿勢です。「いそがの危険をおしける訓練に対し、全国知事会に呼びかけ、中止を求めます」と知事にせまっています。知事は、責任以降を講じている」と以前の姿勢をめぐるとどまっています。

騒音測定機材の設置要望があれば検討  
 各市町村への測定機材の設置は、「要望があれば必要が生ずるから検討に判断はまいます。」と一歩前進の答弁をします。

## てくてく歩記 (745)

わたし  
 はやくも11月の足音。はやくもですわ。  
 年賀はがきの注文や、母の入所している施設への面会が11月ぶりにできようになり。(5分間)

せろべきことをメモにして、終われば「消していく日々。「忙しいけれど、楽しみもあり」と考えて、走っています。皆さんもどこかで紅葉を楽しんで余裕もたつたら、お話をね。